

ポイント

◆◆特集◆◆

★首都高中央環状線山手トンネルの防災安全対策★
(首都高速道路株式会社 保全・交通部 管制技術グループ)

今年3月に3号渋谷線まで開通した首都高中央環状線山手トンネルは、延長約10kmで利用交通量も多く、分合流部もあるというこれまでに類のない都市内長大トンネルであることから、万が一の災害発生時に備えた国内最先端の防災安全対策を施している。

本稿はこの山手トンネルの防災安全の取り組みについて報告するものである。

◆◆TOPICS◆◆

★道路標識令の改正★
～高齢運転者等専用駐車区間制度の導入について～
(国土交通省 道路局 路政課)

高齢運転者の安全運転への支援策として、平成22年4月19日に「高齢運転者等専用駐車区間制度」が導入された。

本稿では、同制度の導入と関連して、道路標識に関する法体系について解説し、このたびの道路標識令の改正についても紹介する。

★小型気象レーダー(WITHレーダー)ネットワーク技術の利活用に関する研究★
(西日本高速道路株式会社 保全サービス事業本部
保全サービス事業部 保全サービス事業統括グループ)

NEXCO西日本(大阪市北区、代表取締役会長 CEO:石田 孝)は、“高速道路の100%の安全・安心の確保”を高速道路会社として最も重要な使命と考え、様々な取り組みを実施している。短時間のうちに急変する局地的な集中豪雨などの気象リスクを捉え、交通規制に向けた初動対応の迅速化、高速道路を通行されるお客さまへのいち早い道路気象情報提供を目指し、道路管理業務における小型気象レーダー(以下「WITHレーダー」という)ネットワーク技術の利活用についての共同研究を実施しているところであり、この研究について紹介する。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★近畿地方整備局における事例紹介★

～有料駐輪場の整備、地元が不法に使用していた駐車場の是正、 ウェルカムゲートの占用～

(国土交通省 近畿地方整備局 道路部 路政課)

道路の管理を行っている事務所においては、さまざまな事象に対して日々対応し、安全で安心できる道路管理を実現しています。本稿では、有料駐輪場の整備、地元が不法に使用していた駐車場の是正、ウェルカムゲートの占用といったちょっと毛色の違う3事務所の事例を紹介いたします。

★地域との協働、民間活力導入による道路管理について★

(徳島県 県土整備部 道路総局 道路政策課／道路整備課)

厳しい財政状況が続くなか、県民サービスを低下させないため、道路管理においては官民協働や民間活力を導入するなどの施策を推進している。

本稿では、多様な維持管理によるサービス水準の確保の取組み事例を紹介する。

★自然の厳しさと恩恵をうける道路★

(徳島県 那賀町 建設課)

那賀町だけではなく、訪れる人の心を癒し、毎春多くの人が開通を待ち望んでくれる「町道剣山線」通称「剣山スーパー林道」。

財政的に維持管理は厳しい状況の中、この路線の管理・活用手法などが当町の道路行政としての課題である。本稿では、この剣山スーパー林道について紹介する。

◇◆お知らせ◆◇

『また明日 きっと歩こう この道を』

～平成22年度「道路ふれあい月間」推進標語決定！～

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

国土交通省では、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、改めて道路の意義・重要性について考えて頂くことを目的に、推進標語を広く一般から募集しました。

審査懇談会における厳正な審査の結果、応募総数6,006作品の中から、最優秀賞1作品、優秀賞8作品の推進標語が選ばれました。

◇ ◆編集後記◆ ◇

梅雨が明けたら、夏本番ですね。紫外線が気になる季節です……。

ひと昔前まで、日光浴は、体内にビタミン D を摂取することができ、骨を丈夫にする効果があるなどと言われていました。風邪をひかなくなるとか……。しかし今や、すっかりワルモノ…。「日光浴をする」→「紫外線を大量に浴びる」→「シミやソバカスの原因となる」という流れがいつの間にかみなさんの頭の中に定着しています。また、過剰に紫外線を浴びると、皮膚がんの原因になるともいわれており、日光浴が身体にいい影響を与えるとこの認識は全く違ってきています。

すっかりワルモノになった感がある日光浴ですが、悪いことばかりではないようです。日光に当たることで、身体、脳内でセロトニンという物質が形成され、この物質には心の高ぶりを鎮める効果や、集中力を向上させる効果があるというのです。また、このセロトニン、夜になるとメラトニンという物質に変化し、睡眠を促す物質で眠りやすくなるといわれています。なんだか、すごい物質です。

余談ですが、私が過ごした小学校では、夏休み明けに一番日に焼けたことを競う「一番日に焼けたで賞」（ベタ）というイベントが開催されていました。このイベントの一等賞になるべく、私も宿題をそっちのけでプールに通ったり、公園を走り回ったりしていました。焼きすぎて、皮膚が剥けてしまうなどのハプニングもあり、結局、一番になったことはありませんでしたが…。今では楽しかった良い思い出です。現代の子供たちは、外で遊ぶときには日焼け止めを塗ると聞きます。日に焼けたことを競うイベントの存在などは、論外なのかもしれません。

この梅雨空の中、今年の夏は何をしよう…と、思いを巡らせてみたところ、気持ちのよさそうな夏空のドライブの光景が浮かびました。

紫外線は、室内や車の中にも、窓を通して入ってくるといいます。

せっかく想像したので、この夏は海へ山へドライブに出かけてみたいと思いますが、今の子供たちのようにしっかり紫外線対策をしつつ、日光浴を楽しみたいです。セロトニンの効用による、心の鎮まりと、集中力の高まりを期待して…。

(U)